

「SBI ネオメディア生態系の戦略構想」 記者会見における 当社代表取締役 村上範義の登壇に関するお知らせ

株式会社 W TOKYO（本社：東京都渋谷区、代表取締役：村上範義、コード番号：9159、東証グロース、以下「当社」）代表取締役の村上範義は、2026年3月31日(火)に泉ガーデンタワーにて開催された、SBIグループ主催の「SBI ネオメディア生態系の戦略構想 記者会見 ～SBIグループが実現するメディア・IT・金融の融合について～」に登壇いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

■記者会見の概要



(写真後列 右から2番目：村上範義)

本記者会見は、SBIグループが推進する「メディア・IT・金融の融合」を通じた新たな生態系（エコシステム）の戦略構想を発表する場として開催されました。

SBIホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長の北尾吉孝氏、SBIネオメディアホールディングス株式会社 代表取締役社長 深澤裕氏、SBIネオメディアホールディングス株式会社 代表取締役副会長 近藤太香氏、SBIネオメディアホールディングス株式会社 シニアアドバイザー/音楽プロデューサー・作詞家 秋元康氏の講演が行われたのち、SBIネオメディア生態系を構成する各社がプレゼンテーションを行いました。

当社代表の村上は、SBIネオメディア生態系を構成する企業紹介のパートにおいて、当社の事業戦略およびSBIグループとの今後のシナジーについてプレゼンテーションを行いました。

■当社代表 村上のプレゼンテーションの要旨

当社 W TOKYO は『Branding TOKYO, Branding JAPAN』というコンセプトをもって東京ガールズコレクション (TGC) を運営しております。TGC は「日本のガールズカルチャーを世界へ」をテーマに、2005年から年に2回、通算42回開催しており、モデル・タレント・アーティスト、動画クリエイター等の日本のトップインフルエンサーが一堂に会する、日本一のファッションフェスタです。

ここ TGC を起点に様々なムーブメントが起きています。さらには、多種多様なパートナーとのコラボレーションにより、単純なるファッションショーではなく、ラボラトリー機能を担うブランディングプラットフォームとして発展しております。様々な企業様、自治体様の課題解決のためこのプラットフォームで発信する事業体となっており、変わり続ける社会課題を青年層に伝える架け橋としての役割を担っております。

私たちは、約2万人のリアルの来場者、そして500万人規模のスケールで配信し、これまで数多くの熱狂を生み出してまいりました。かつて女性のファッション誌などが担ってきたZ世代へのリーチを単純なる代替ではなく、「リアル × デジタル × SNS × 生配信」など横断する形で再定義してまいりました。

TGC はイベントビジネスではありません。イベントは最も大きなアウトプットとして存在していますが、TGC というブランドを供給し続ける IP ホルダーとして、独自の IP の経済圏を構築しております。

TGC のブランドをシェアしながら、地域・企業・カルチャーごとにカスタマイズして、そのときに必要とされる価値へと変換し続ける装置です。50ほどの自治体との連携をしてまいりましたが、このモデルは国内に留まらず、海外においてもその国の文化、産業、若者の熱量と融合しながら価値創造の再現性を実証してきました。3月29日には、ベトナムで1万人ほどの来場者をもって初開催にて大成功してまいりました。

今回、SBIネオメディア生態系としてSBIグループと連携することによって、このTGCで生まれる熱量、そしてIPの価値を、IT・金融・事業創造と接続して、持続的な経済価値へと変換するエンジンとして加速させてまいりたいと思っております。本日はその第一歩として大変嬉しく思っております。